

SepsisとAKI WEBセミナー

総合テーマ: 敗血症と臓器障害への対応

日時

2023年 6月 8日 (木)

18:30-19:30

座長

赤星 朋比古 先生

九州大学病院 救命救急センター センター長

演者

矢田部 智昭 先生

公立西知多総合病院
救急科 部長

日本版敗血症診療ガイドライン
-2020から2024へ-

演者

林 健太郎 先生

獨協医科大学病院
救命救急センター・集中治療部
助教

敗血症診療における血液浄化療法の
可能性
-DPCデータからの考察-

URL: https://baxter.zoom.us/webinar/register/WN_uMYdItNARF2kDvGJDhoWGw



ご視聴には参加登録が必要となります。上記URL又はQRコードより参加登録をお願い申し上げます。
ご登録・ご視聴方法は裏面をご覧ください。
ご視聴ページは講演15分前よりアクセスいただく事ができます。
なお、セミナー開始前に製品情報提供をさせていただきます。

【SepsisとAKI WEBセミナー】

日本版敗血症診療ガイドライン—2020から2024へ—

矢田部 智昭 先生 公立西知多総合病院 救急科 部長

日本版敗血症診療ガイドライン(J-SSCG)は、2012年に54のClinical Question (CQ)からなる本邦初の敗血症ガイドラインとして発表された。4年ごとに改訂が行われ、J-SSCG2016では集中治療後にも注目をし、ICU-acquired weaknessとPost-intensive care syndromeに関する項目も加えられた。2020年に発表された最新のJ-SSCG2020では、神経集中治療やストレス潰瘍などの新たな項目がさらに追加になり、126のCQが取り上げられた。本講演ではまず、J-SSCG2020を紹介しながら敗血症診療の概要についてまとめてみたい。さらに現在、改訂作業が行われているJ-SSCG2024ではどのように変わるのか、2023年3月に開催された第50回日本集中治療医学会学術集会で発表された内容を元に紹介したい。

敗血症診療における血液浄化療法の可能性 -DPCデータからの考察-

林 健太郎先生 獨協医科大学病院救命救急センター・集中治療部 助教

敗血症は感染に対する制御不能な生体反応に起因する、生命を脅かすような臓器障害である。炎症性メディエータ/Damage-associated molecular patterns (DAMPs)の血中濃度上昇はAKIの重症化や敗血症の致死率上昇に関連しているとされている。そのため、炎症性メディエータ/ DAMPsの吸着および除去を目的としたNon-renal indicationとしての血液浄化療法が世界的には注目されているが、未だ有用なエビデンスはない。今回我々はDPCビッグデータを用いて、消化管穿孔に伴う汎発性腹膜炎および肺炎に対して、AN69ST膜とその他の膜による臨床予後に与える影響の比較・検討を行った。今回の報告から、AN69ST膜を用いた血液浄化療法が他の膜よりも有効であることが示唆された。しかし、今後の課題としては、AN69ST膜を含めた血液浄化療法に関するエビデンスは依然として不足しているため、更なる研究が必要である。

ご視聴ご登録

- 【1】 下記ご登録フォームURLにアクセスします。
- 【2】 ご登録フォームに必要事項をご入力ください。
- 【3】 画面下「登録」ボタンをクリックしてください。
- 【4】 登録完了画面に遷移します。
- 【5】 ご登録アドレスあてにご登録完了通知メールがZoomより届きます。

【ご登録フォーム】



【1】ご登録フォーム
にアクセス

【2】ご登録フォームにご入力ください
【3】画面下「登録」ボタンをクリックしてください

【4】ご登録完了画面に遷移します。
【5】ご登録完了通知メールが届きます。